



市政の動向を、タイムリーに掲載します

● NEXT商店街プロジェクトが始動

商店街請負人を中心とした外部専門家の支援を受け、次世代商店街のモデルの実現を目指す県のプロジェクトに、新狭山北口商店会が取り組んでいます。現在、空き店舗を活用して、子どもの一時預かりもできる多目的打合せスペースの設置や、賑わいづくりとしてシンサヤママーケット(13ページを参照)の開催などを計画しています。市も、このプロジェクトを支援し、商業の活性化に取り組んでいきます。



問合せ 商業観光課へ内線2552

● 狭山市に階段アートが登場

10月16日(水)・17日(木)、狭山市観光協会と市が連携し、狭山市駅と狭山市役所に、狭山茶と狭山市入間川七夕まつりをデザインした階段アートを設置しました。駅西口の図柄には市内在住の童絵作家である池原昭治氏の童絵が、東口と市役所の図柄には写真が使われています。地域資源を活用し、狭山市を訪れる方に、市の魅力を発信していきます。



問合せ 商業観光課へ内線2552

● 水野地域包括支援センターを開設

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活ができるよう支援する相談窓口です。より多くの方をサポートできるよう、12月2日(月)に「水野地域包括支援センター」を開設します。なお、これまでの「入曽・水野地域包括支援センター」は「入曽地域包括支援センター」に名称を変更します。

開所日時 月～金曜日、9時～17時(祝日を除く)

所在地 北入曽1502-1

電話番号 2937-7871

問合せ 長寿安心課へ内線1553

● 狭山茶の農業遺産認定に再挑戦

10月24日(木)、狭山茶生産を行っている10市1町などで構成される狭山茶農業遺産推進協議会の総会が行われ、昨年農業遺産への認定が見送られた、狭山茶の特徴である、生産者自らが栽培から販売まで一貫して行う伝統的な農業システムについて、改めて認定を目指すことを決定しました。前回の指摘を踏まえながら、来年6月の申請に向けて準備を進めていきます。



問合せ 農業振興課へ内線2532

ONE for All 市長が走る! ④

日本中に勇気を与えた桜の戦士

記録的な大雨をもたらした台風19号では、狭山市にも大雨特別警報が発表され、一部地域に避難指示が発令されました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、自然災害の恐ろしさを改めて痛感しました。被災された地域の皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を願うばかりです。

さて、先月は天皇陛下の即位礼正殿の儀が行われました。儀式が始まるまさにその時、朝から続いた雨が止み、日差しとともに虹が

現れたようです。この幻想的な光景を後世の人々は神話の中の話だと言うかもしれません。しかし、令和という新時代への願いが天気まで変えたと私は感じています。

一方、ラグビーワールドカップでは、日本代表が強豪国を次々と撃破し、季節はずれの「桜」が満開となりました。この大会で各国の代表選手が私たちに示したものは目標に対する自己犠牲やチームへの貢献、リーダーシップ、そして他者への敬意など数え上げればきりがありません。特に、桜のジャージに袖を通した勇者達の歩みは新時代への大きなヒントを与えてくれているようです。



台風へ備え災害対策本部を設置

市長の主な動き

○10/1…登校交通安全指導 ○10/5…市内保育所・幼稚園運動会 ○10/6・14…各地区体育祭 ○10/9…自治会連合会幹事との懇談会 ○10/11…入間基地への要望活動 ○10/12…災害対策本部 ○10/20…商工祭、地区敬老会 ○10/24…狭山茶農業遺産推進協議会総会、埼玉県市長会定期総会・市長研修会 ○10/31…市民文化祭

テーマ4

市政運営をみんなの力で

協働によるまちづくりや「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進により、次世代につながる元気なまちづくりに取り組みました。

東京オリンピック・パラリンピック推進事業 (797万3千円)

東京オリンピックに向けた2年前イベントの開催をはじめ、小・中学校でのオリンピック・パラリンピックによる特別授業などの実施により、機運の醸成を図りました。また、オリンピックゴルフ競技の観客輸送想定駅である狭山市駅周辺に無料公衆無線LAN環境を整備しました。



市内小学校でオリンピック・パラリンピックの特別授業を実施しました。

市民参画(協働)推進事業 (175万9千円)

地域の課題を解決するために、市民の皆さんと市が情報を共有し、力を合わせていくための考え方を示した「狭山市協働によるまちづくり条例」を12月に制定し、平成31年4月1日に施行しました。

入曽地区地域交流施設(仮称)整備事業 (1億1,758万円)

公民館の機能を継承しつつ、地域住民の交流や連携の促進を図るため、入間中学校跡地で、入曽地区地域交流施設(仮称)の新築工事に着手しました。



令和2年4月の供用開始に向けて、工事の進められています。

公共建築物等再編統合事業 (794万1千円)

4月に策定した狭山市公共施設再編計画に基づき、公共施設の再編をテーマにしたワークショップや入間中学校跡地の市場性調査などを実施しました。

テーマ3

楽しめる健康高齢社会を

高齢になっても元気に地域で活躍できる、健康第一の地域づくりや、安全安心のまちづくりに取り組みました。

市内循環バス運行事業 (4,744万4千円)

交通の利便性の向上と交通空白地域の解消を図るため、市内循環バス「茶の花号」の運行ルートなどを見直し、12月から新たなコースで運行しています。また、今回の見直しでは、入曽西コースを武蔵藤沢駅まで、水富コースを入間野田モールまで延伸しました。



武蔵藤沢駅を経由する茶の花号

健康長寿埼玉モデル事業 (524万円)

日常的な平均歩数より1,000歩多く歩くことを目的に、ウォーキングを行うことや健康づくりイベントに参加することでポイントを貯め、景品がもらえる「おりびい健康マイレージ」事業を実施し、1,043人が参加しました。

障害者福祉事業(あいサポート運動事業) (147万9千円)

障害のある人にちょっとした手助けや配慮をすることで、誰もが暮らしやすい地域社会の実現を目指す、あいサポート運動事業を開始しました。研修を19回開催し、783人のあいサポーターが誕生しました。



あいサポート運動 協定締結式